

大隅の「夜間診療体制」を守るため 夜間急病センター等を 正しく利用しましょう!



本当に必要な時に、診療を受けられなくなる可能性も!!

緊急性の高い患者の診療のために開設しています

大隅広域夜間急病センター
や夜間救急当番病院は、夜間の緊急性の高い患者の診療を行うことを目的に開設されています。

大隅広域夜間急病センターは夜間における内科・小児科の初期救急医療機関として、突発的な発熱や腹痛などに対応するための診療所です。

また、夜間の外科診療については、市内の外科病院等が輪番制で行っています。夜間救急当番病院の診療時間は18時〜23時で、23時以降は急患



ココは内科・小児科の診療所です!

大隅広域夜間急病センター

平成23年4月、市役所前の市有地に開設された、内科と小児科の急患を対象とする公設民営方式の夜間急病センターです。

これは大隅定住自立圏の構成市町である3市5町(鹿屋市・垂水市・志布志市・大崎町・東串良町・錦江町・南大隅町・肝付町)が一体となって取り組み、大隅地域の夜間救急医療体制の確保のために開設した診療所です。

診療内容 内科及び小児科の応急的な処置のみ(薬の処方 は1日分のみ)

診療時間 19:00~翌朝7:00
※年中無休

受付時間 18:30~翌朝6:30

問 大隅広域夜間急病センター
☎ 0994-45-4119

受診すべきか悩む時は、まずは電話でご相談ください。看護師などが応急処置や受診の必要性などを助言します。

のみ対応します。夜間救急当番病院は、大隅肝属地区消防組合テレホンサービス(☎0994-43-0119)で確認できます。

冷静な目で判断を!

夜間の小児患者の約7割が発熱です。小児患者は、水分を良くとり、機嫌が良ければ安静にしておくことが、元気になる一番の早道です。

高熱であっても、機嫌が良いか、水分の補給ができているか、ぐったりしていないかなど、冷静な目で判断できる余裕を持ちましょう。

適正な受診で夜間診療体制を維持しましょう!

比較的軽症の患者や、昼間に受診できる人が夜間に受診すると、緊急性の高い患者の診療の遅れや、結果として受診できないことの原因になります。

また救急対応の必要の無い夜間の患者が増え過ぎると、医師や看護師の負担が増え、診療体制を維持できなくなることになりかねません。

大隅広域夜間急病センターや夜間救急当番病院の本来の目的を正しく理解し、みんなが夜間の診療体制を守りましょう。

INTERVIEW



大隅広域夜間急病センター
池田 徹 センター長
(医療法人青仁会池田病院 理事長)

夜間急病センターを存続させるためにご協力を!

大隅広域夜間急病センターは開設から7年目に入りました。非常に多くの方々にご利用されていますが、患者さんのほとんどが、比較的軽症で翌日昼間の時間帯にかかり付けの病院で受診できる方というのが実情です。

そのため、センター内は日々、多くの患者さんの対応に追われ、本当に診療を必要としている人が受診できなくなる事態も危惧されています。関係機関が協力し知恵を絞って開設した大隅広域夜間急病センターは今や存続の危機にあると言っても過言ではありません。

大隅広域夜間急病センターが無くなったら大隅半島の医療は崩壊します。大隅・鹿屋の夜間診療体制を維持するため、適切な利用について、皆さんのご理解とご協力をお願いします。